健康ガイド

問 健康推進課(佐屋保健センター)
☎(28)5833

定期の予防接種の種類	対象	接種場所	接種回数	備考
高齢者 肺炎球菌	①満65歳の方 ②満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器に障害のある方(身体障害者手帳1級程度)またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害のある方	愛西市、津島市、弥富市、あま市、海部郡の指定医療機関	1回	①65歳到達月の翌月当初に個人通知します。自己負担金については、通知をご覧ください。 ②事前に手続きが必要です。健康推進課へお問い合わせください。 **※過去に接種したことのある方は、対象外。**
HPV感染症ワクチン (子宮頸がんワクチン)	①小学校6年生から高校1年生相当の女子 ②平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女子かつ、令和4年4月1日から令和7年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種している方で、接種が完了していない方		2回／3回	対象者は無料で接種できます。 ※対象②に該当される方は接種期限が令和8年3月31日まで延長されました。詳細は市のホームページをご覧ください。
高齢者帯状疱疹予防接種	①年度内に65歳を迎える方 ②60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある方 ③【令和7年度から11年度までの経過措置】年度内に70・75・80・85・90・95・100歳以上となる方		①生ワクチン「ビケン」：1回 ②組換えワクチン「シングリックス」：2回 ※①、②いずれか一方	対象者に個人通知をします。自己負担金については、通知をご覧ください。 定期接種の対象として接種できるのは生涯1度限りです。 詳細は市ホームページをご覧ください。

大人の風しんワクチン接種費用の助成について

市内在住で、妊娠を予定または希望している女性(妊娠中の方を除く)で、抗体価が低いと判定された方に対し、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンの接種費用の一部を助成します。

なお、風しんの抗体検査は、愛知県が費用助成を行っています。(ただし、対象者に条件があります。)

特別の理由による任意予防接種費用の助成について

骨髄移植手術などにより、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断された方に対して、再接種にかかる費用の助成をしています。再接種の前に健康推進課で手続きが必要です。

愛知県広域予防接種について

予防接種について、疾病や里帰りなどの事情がある場合、海部・津島地区以外の医療機関(愛知県内の広域予防接種協力医療機関)で接種することができます。事前に手続きが必要となりますので、健康推進課へお問い合わせください。

帯状疱疹予防接種(任意接種)について

任意接種による帯状疱疹予防接種費用の一部を助成しています。定期接種化に伴い、令和7年4月からは50歳以上61歳未満の方(年度内に61歳になる方を除く)が対象です。詳細は市ホームページをご覧ください。

歯と口の健康講座 お口から始まる負の連鎖

最近食事の時にむせる、食欲がない、少ししか食べられない、柔らかいものばかりを食べる、滑舌が悪いなどありませんか？

足腰が衰えるようにお口の機能も歳とともに衰えます。

ささいな口の衰えが積み重なり悪循環が生まれます。この状態を「オーラルフレイル」と呼びます。これを放置しておくと、口の機能の障害、さらには心身の機能の低下に繋がります。ささいな口の衰えは近い将来、全身が衰えるサインといえます。

以下のうち、3つ以上自覚症状があるときはオーラルフレイルの危険性があります。

①奥歯でしっかり噛めない
②噛むと歯に痛みや違和感を感じる
③以前と比べて固いものが食べにくくなった
④食べこぼしをすることが増えた
⑤むせやすくなった
⑥口が乾燥している
⑦滑舌が悪くなった
⑧歯を磨く回数が減った
⑨歯の定期検診をしていない
⑩外出する機会が少なくなった

歯科治療やトレーニングを行う事で健康な状態への回復が可能です。

放置せずにできるだけ早くかかりつけ歯科医に相談し、さらなる口腔機能の低下を予防することも大切です。

(海部歯科医師会)